

# 特集: JARMeCの白内障治療

日本動物高度医療センター(眼科) 獣医師 福島潮

## 最近は、犬も人と同様の白内障手術が可能

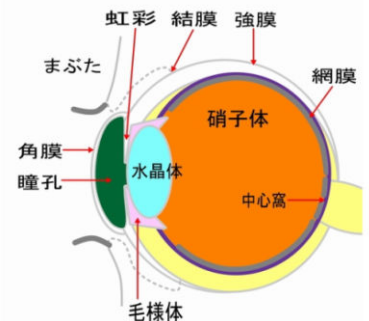
犬も、人と同様に白内障が発症します。

盲目の原因になる病気で最も多いのは、白内障です。よく犬は鼻が効くといいますが、眼が見えなくなれば不自由になります。散歩をしていても周りの状況が分からず、物にぶつかったり、わずかな物音に驚き神経質や臆病になっていくものです。犬にとって一番つらいのは飼い主とのアイコンタクトが出来なくなってしまうことです。犬の場合、「白内障になっても犬だから治療できない」と思われる方が多くいます。しかしながら、現在では犬用の眼内レンズも開発され、人と同様な手術による治療が可能であります。

## 白内障とは

白内障とは、眼の水晶体が、一部もしくは全部白濁する病気です。ひどくなれば失明します。

白内障の発症の詳しいメカニズムについては、わかっておりませんが、病因別に「先天性白内障」「若年性白内障」「老年性白内障」「急性白内障」に分類されます。



### 先天性白内障

- ・生前
- ・胎生期に眼球が形成される段階で水晶体がきれいに分化せず、濁ったまま生まれてくる。

### 若年性白内障

- ・生後0.5~2.5歳くらい。
- ・遺伝的な要因といわれますが、そうでないものもある。

### 老年性白内障

- ・生後5.0歳~
- ・老化現象の一つで、6か月程度で水晶体の濁りがひどくなる。

### 急性白内障

- ・糖尿病など他の病気から発症する代謝性白内障。
- ・眼球への損傷から発症する外傷性白内障。

## 老年性白内障は早期発見・早期治療が重要

特に、老年性白内障は、進行度合いにより「初期白内障」「未成熟白内障」「成熟白内障」「過熟白内障」に分類されます。初期の場合は専門医が検査しなければ発見できないほどですが、放っておくと6か月くらいで水晶体の濁りがひどくなります。

早期治療の機会を逃し、網膜や視神経が機能しなくなってしまうと手術をしても手遅れになる場合があります。

### 初発白内障



視力障害は少ない

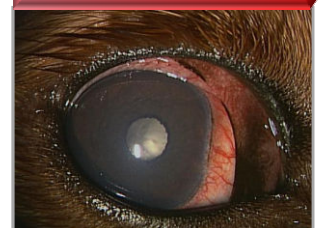
### 未熟白内障



### 成熟白内障



### 過熟白内障



視力障害あり、進行すれば失明の可能性あり

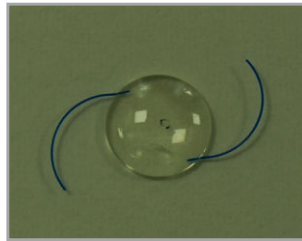
## 白内障の治療

白内障の治療法には「内科的療法」と「外科的療法」があります。

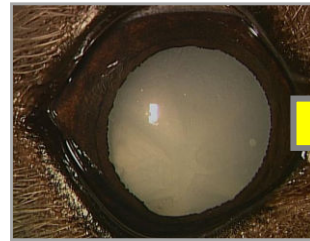
「内科的療法」は点眼薬を用います。初期の白内障には進行を遅らせる効果があります。一方、「外科的療法」は、視力が障害された眼に行います。この手術は、水晶体内容物を除去し、眼内レンズを挿入するといった、かなり高度な専門技術・医療機器が必要です。



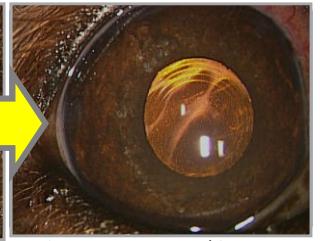
点眼薬



犬用眼内レンズ



術前



術後(眼内レンズ挿入眼)

## 白内障の外科的療法の実際

白内障の手術は、濁った水晶体の内容物を超音波の振動で細かく砕いて吸引した後、眼内レンズを挿入します。

### 検査

全身状態を把握をします。

- ・問診(現病歴/過去病歴/薬剤投与歴など)
- ・眼検査(眼圧測定/眼内エコー検査/網膜電位検査など)
- ・その他(血液検査/尿検査/心電図/エコー検査など)
- ・手術可能かどうかの判断



### 手術

全身麻酔を施し、手術用顕微鏡を用いて行います。

#### 1.角膜切開

角膜周辺より3.5mmの切開創で角膜切開を行い、眼球がつぶれないようヒアルロン酸を注入します。

#### 2.前嚢切開

水晶体を包むカプセルの前面を針や前嚢鑷子で丸く切りとります。

#### 3.水晶体の超音波乳化吸引

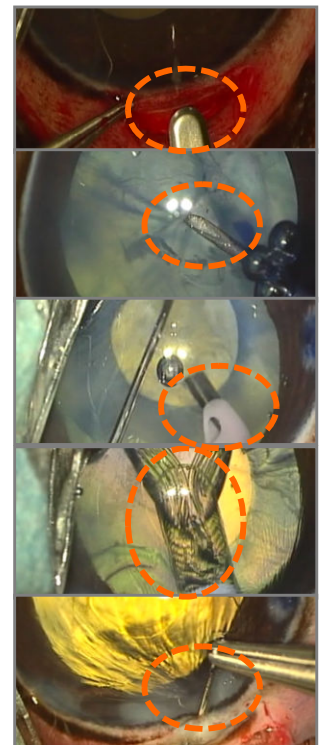
角膜の切開部より器械を挿入し、カプセルの中身(水晶体)を乳化吸引します。

#### 4.人工レンズの挿入

水晶体を除去した後、個体にあった眼内レンズをカプセルの中に挿入します。

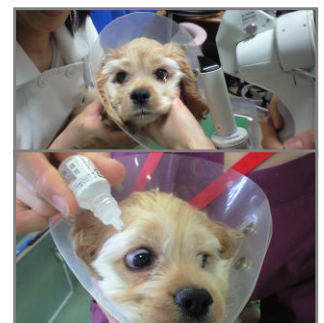
#### 5.角膜・結膜の縫合

角膜・結膜を縫合して手術終了です



### 入院

手術後は3日～7日間の入院が必要です。術後の経過を毎日検査し必要に応じた治療を行います。



### 自宅療養

- ・退院後は自宅で飼主さんに飲み薬の投与、1日数回の点眼を行っていただきます。
- ・通院は1週間に1回程度で眼のチェックを行います。
- ・手術後しばらくは眼の保護のためエリザベスカラーをつけたままにします。

## JARMeCの白内障治療の特徴

手術実績が多く技術の安定したドクター達とスタッフが実施するため、安心して手術に臨むことができます。

また、検査や手術を行うために重要な設備が充実しており、病態の細かい変化も見逃さず対応できるようにしております。



## 治療費

手術費用は、1眼あたり50万程度が目安となります。

※検査料/手術料/麻酔料/入院料など含む費用となります。

※動物の状態により、検査項目や手術難易度などが異なります。そのため、上記料金はあくまで目安としてご理解ください。

※合併症など他の疾病の治療が発生した場合も料金が変動することがありますので、ご了承のほどお願いします。

## 飼主さまへのお願い

ペットが以下のような行動をとっている場合、白内障である可能性があります。その際は、出来るだけ早くかかりつけ医にご相談されることをお勧めいたします。

- ・動物が眼を気にして掻く・擦る
- ・白目が赤くなった
- ・眼が濁って見える
- ・行動範囲が狭くなった
- ・暗い部屋で物にぶつかるようになった
- ・段差でつまずくようになった
- ・階段を上らなくなった

### 日本動物高度医療センター 眼科 医長 福島 潮(ふくしま うしお)



神奈川県鎌倉市出身。  
北里大学獣医学博士課程中に米国Purdue大学短期留学にて眼科を専攻。北里大学獣医畜産学部獣医学科勤務(眼科診療科)を経て現職。

専門分野は「獣医眼科学」「獣医超音波診断学」「獣医外科学」趣味は、愛犬との散歩、スノーボード、ボディボード。

本資料は予告なく変更される場合がございます。ご了承ください。